

会議録

1 会議名

令和7年度第8回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 報告事項 (公開)

- ・柿崎区新保育園の整備等に関するアンケート調査結果について
- ・「柿崎マリンホテルハマナスの利用時間及び休館日の変更について」の答申に対する回答について

(2) 質問事項 (公開)

- ・上越市過疎地域持続的発展計画（案）について

(3) 協議事項 (公開)

- ・「上越市柿崎体育館の廃止について」の質問に対する答申について
- ・「上下浜小学校及び下黒川小学校の廃止について」の質問に対する答申について
- ・「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の質問に対する答申について

(4) 自主的な審議 (公開)

- ・柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について

(5) その他 (公開)

3 開催日時

令和7年11月18日（火）午後6時30分から午後7時41分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・委員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員
小関委員、小山委員、坂木委員、佐藤（達）委員
佐藤（昌）委員、佐藤（ま）委員、滝澤委員、山川委員
- ・児童保育課：黒津課長、徳永副課長、松井係長
- ・地域政策課：五十嵐地域政策監、笛田係長
- ・事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長
荻谷産業グループ長、横尾建設グループ長
石川市民生活・福祉グループ長、岩片教育・文化グループ長
長井地域振興班長、熊木副主幹

8 発言の内容（要旨）

【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に小関委員を指名。
- ・次第4の報告事項に入る。報告事項(1)柿崎区新保育園の整備等に関するアンケート調査の結果について児童保育課から報告をお願いする。

【児童保育課 黒津課長】

- ・新保育園の整備について、先日プロポーザル方式で設計業者が決まった。また、それに先立ちこの協議会の中でも様々な意見をいただいていた。どのように地域の声を拾っていくかについて、保護者や保育士等にアンケートをして、その結果がまとまったので、今日はそれを併せて報告に伺った。担当の徳永副課長から説明させていただく。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・柿崎区における新保育園の整備、運営に関し関係者に対して実施したアンケート調査の結果について、配布資料に基づき概要を説明する。
(資料 1 及び別添資料により説明)
- ・新保育園の新築工事の設計事業者は、指名型プロポーザルによる業者選定を行った。5社から参加の表明があり資格、実績の審査、そして企画提案書に基づくプレゼンテーションによる2次審査を踏まえ、合計で最も高い評点を獲得したハート1級建築士事務所、ナカノデザイン1級建築士事務所共同企業体(JV)を最優秀者に選定のうえ、契約を締結し、この度、設計業務に着手したところである。
- ・併せて本案件のアンケート調査の結果などについて設計事業者へも情報を提供了うえで、保護者や職員が新保育園の整備に関し、どのような意見を持っているのか、また、どのようなことに関心が高いのかについて情報を共有させていただくとともに、設計事業者と市及び区の担当者、柿崎区4園の園長を加えたメンバーで新しい保育園の新築工事に係る詳細な設計内容の打ち合わせを開始した。
- ・これまで新保育園の整備に係る取組状況について逐次適切な情報提供に努めてきたところではあるが、今後事業の全容、詳細がより具体化してくるので、設計業務の進捗に応じて引き続き関係者への適切な情報提供に努めてまいりたい。なお、このアンケート調査の結果については、回答に協力いただいた保護者や職員にも同様に周知する。

【吉井会長】

- ・ただ今、幼児保育課から説明があった。今の説明に対し質問はあるか。

【小山委員】

- ・プロポーザルで設計事業者が決定したとの話があったが、プロポーザルの中の提案書があったと思うが、アンケート調査の結果をどこまで反映されていたのか。これから設計事業者とこのアンケート調査の結果を可能な限り反映するような内容になるのか、どのように進んでいくのか聞かせてほしい。

【幼児保育課 徳永副課長】

- ・決定した設計事業者からいただいた提案書と今回のアンケート調査の結果との

整合について、時間軸から言うと、設計事業者からいただいた提案書の方が、アンケート調査の結果を公表するよりも前に提示していただいていることから、設計事業者にとっては、アンケートでどのような意見が出ていたのかは分からぬ状況であった。また、児童保育課としては、既にアンケート調査の結果を集約し、保護者等の意見をある程度把握していたが、アンケート調査の結果に基づく保護者等の意見が提案にどこまで反映されているかについては、今回のプロポーザルにおける評価基準には含めていない。

- ・事務担当者としての感想だが、結果的に、最優秀者に選定された設計事業者の提案はアンケート調査における保護者等の意見を概ね組み入れた提案だったと思われる。
- ・設計事業者に対するアンケート調査の結果の情報提供に当たっては、保護者等の意見の詳細を細かい一言一句を含めて提供している。こうした中で、設計事業者の提案内容と保護者等の意見を一致させて対応できること、さらに検討していくべきなればいけないこと、既に提案に含まれていることについて、今後、オーソライズしていくと思うので、こういったものを引き続き市担当者と保育園の園長、設計事業者との協議の中で十分に反映できればと思っている。

【小山委員】

- ・過去に我々が集計したアンケート調査や市で集計したアンケート調査の内容も思い起こしながら、このアンケート調査の結果を見ていたが、ほぼ意見が網羅されていると感じた。保護者、関係者すべてが思うような保育園になるべく近づけるような形で進めていただければと思う。

【吉井会長】

- ・ほかに質問はないか。

(質問なし)

【吉井会長】

- ・これからたくさんの課題が出てくると思うが、随時対応をお願いするとともに、適時に報告をお願いする。以上で、この件は終了する。次に(2)「柿崎マリンホテルハマナスの利用時間及び休館日の変更について」の答申に対する回答について、事務局に説明をお願いする。

【長井班長】

(資料 2 を読み上げる)

【吉井会長】

- ・この件については、こうなるという報告である。
- ・次に 5 質問事項に移る。(1)上越市過疎地域持続的発展計画（案）について地域政策課から説明をお願いする。

【五十嵐地域政策監】

(資料 3 及び別紙により説明)

【吉井会長】

- ・ただ今、五十嵐政策監から説明があった。今の説明に対し質問はあるか。

【小出委員】

- ・この計画自体に意見がある訳ではないが、意見を述べる。51ページの高齢者外出支援事業では、「ひとり暮らしの高齢者にタクシー券を交付する」という内容で、その事業自体は良いことだが、「要介護認定を受けていない人」となっている。要介護認定を受けたらタクシーで出かけられないという考えなのかと推測する。一人暮らしの高齢者に「そろそろ地域包括支援センターに行った方が良いのでは。」と話した時に、「そこに行って要介護になったら大事なタクシー券を取り上げられるから行けない。」と言われた。介護度が上がった方がタクシー券をもらえないのかと驚いた。それで調べたら、要支援の間はもらえるが要介護になったら使えなくなるということが分かった。外出できなくなる人は、取り上げなくても外出できなくなるではないか。ぎりぎり要介護になっても使いたいという人もいるかもしれない。その人には、介護の支援を受けてほしいと思うが、それが原因で足踏みしているのは本末転倒ではないかと思った。機会があったら担当に伝えてほしい。

【五十嵐地域政策監】

- ・要介護を受けることによっていろいろなサービスが受けられるところがあるのかと思っている。タクシー券を併用できる部分もあるのではないかと私も思ったので、担当課に話し担当課で何かお伝えするがあれば委員に連絡させていただければと思う。

【吉井会長】

- ・それは過疎地域だけに関わることではない。上越市全体の問題である。検討していただきたい。ほかに質問ないか。

【佐藤（達）委員】

- ・そもそもこの計画（案）であるが、計画期間が令和8年から13年までということだが、ここに記載されている案の内容を実行に移していくのがこの期間という認識で良いか。

【五十嵐地域政策監】

- ・基本的には令和8年度から12年度までということであるが、前の段階でもやつていて継続しているものもある。令和8年度から新規という訳ではないところもあるが、ここに載っている内容は令和8年度から12年度までの計画ということで理解いただいて良い。

【佐藤（達）委員】

- ・では、ここに記載されている内容を隨時この期間内に実行に移していくという認識で良いか。

【五十嵐地域政策監】

- ・この期間でどこまでできるかというのもあるかと思うが、私どもとしては、この5年間の中での計画と考えている。

【佐藤（達）委員】

- ・少し細かい話になるが、例えば25ページの観光・レクリエーションという項目があるが、下の方に「各区の観光協会等が個別に事業を実施している現状があることから、全市的な観光振興を図るため、各区の組織間の連携をより一層強化する必要がある。」という現況と問題点に対して、「観光施設を含めた公の施設の適正配置の取組を進めていく」や「必要な観光施設の維持、存続のため施設整備を行い、利用者の拡大を図る。」といった取組を期間内に行うという認識で良いか。

【五十嵐地域政策監】

- ・継続する部分もある。この5年間ですべてが完了するという訳ではないと思うが、5年間で私どもとしては注視して対応できるところは対応していくことになるかと思う。

【吉井会長】

- ・ほかの委員、質問はないか。
- (質問なし)
- ・これについては、11区にとっては非常に有効な政策だと思うので進めていただければと思う。この項目はこれで終了する。
 - ・次に6協議事項に移る。(1)「上越市柿崎体育館の廃止について」の諮問に対する答申について、答申（案）を作った。

(資料6を読み上げる)

- ・良ければ、この内容で答申させていただく。良ければ、挙手をお願いする。
- (委員全員の挙手)
- ・この内容で上越市に答申させていただく。
 - ・次に(2)「上下浜小学校及び下黒川小学校の廃止について」の諮問に対する答申についてに移る。

(資料7を読み上げる)

- ・賛同される委員の挙手を求める。
- (委員全員の挙手)
- ・これで我々が長年検討してきたことが、統合に向けて大きく動き出したということになる。
 - ・次に移る。先ほど上越市過疎地域持続的発展計画（案）について諮問があつたが、今後の予定の関係で答申してほしいということであり、内容についても前回の地域協議会での事前説明とほとんど変わっていないので、正副会長と事務局と相談し答申（案）を作成した。

(資料8を読み上げる)

- ・良ければ挙手をお願いする。
- (委員全員の挙手)
- ・この内容で答申させていただく。
 - ・次に7自主的な審議に移る。柿崎区地域協議会各委員会の取組状況についてスマ×まちプロジェクトについて佐藤（昌）委員長から説明をお願いする。

【佐藤（昌）委員】

(資料4により説明)

【吉井会長】

- ・資料4が会議記録ということだが、周知文書の作成について各委員に再度確認をしているということか。

【佐藤（昌）委員】

- ・そうである。

【吉井会長】

- ・その周知文書を完成して、各スポーツ団体ともう一度ミーティングを進めて行くということか。

【佐藤（昌）委員】

- ・そのとおりである。今現在、計画している団体が1つある。私たちの活動を周知できる形で周知文書を作っている。

【吉井会長】

- ・今、委員長から説明があった。委員から質問、意見はないか。

(意見、質問なし)

- ・では、スポ×まちプロジェクトの委員から追加説明はないか。

(追加説明なし)

- ・この件については、これで終了する。

- ・それでは、ネットワーク柿崎の佐藤（達）委員長に説明をお願いする。

【佐藤（達）委員】

(資料5により説明)

【吉井会長】

- ・佐藤（達）委員長から説明があった。石田委員、追加説明ないか。

【石田委員】

- ・ない。

【吉井会長】

- ・金子委員いかがか。

【金子委員】

- ・当日、私は欠席した。ただ意見交換会を2団体一緒にセッティングできたのは良かった。

【吉井会長】

- ・内容については、佐藤（達）委員長が説明したとおりである。行き着くところは人とカネである。これから、ネットワーク柿崎として人とカネをどう確保するかをこれから詰めて行っていただきたい。それでは、ネットワーク柿崎の報告を終了する。
- ・次に資料はないが米山薬師を守る会の報告を中村委員長にお願いする。

【中村副会長】

- ・11月5日に山頂トイレの解体作業を行った。たぶん4月の組み立ての時よりも参加者が多かったと思う。柿崎区だけでも20人を超えていたと思う。柏崎市からも職員も含めて6人の参加があった。作業を始めたのは9時半を過ぎた辺りからで、概ね11時半くらいで終わった。今回、トイレの建屋を解体した後の便器を雪から守るための囲いを作り直す作業があったが、それは業者が行った。解体作業には、佐藤（ま）委員と小山委員、私が参加した。参加者が多かったこともあり、山岳会の人が思っていたよりも早く終わったという話があった。来年は山岳会に代わる新しい団体で発信をして人を集めるという形になるのかと思う。その中に解散した山岳会の人も何人か参加していただき、教えていただかないとこの作業は続かないと思う。山岳会の人たちも「体が動く限りは来ますよ。」と言ってくれているので、お願いすることになるだろうと思う。山岳会に代わる団体については、私には全貌が見えていないが、最初から大きくすると運営も大変なので、まず登山道の維持管理作業のお願いの情報を発信できることが必要かと思う。今回の解体作業に参加していろいろな話をさせていただいた中では、今の山岳会の人たちから何人か残っていただきお願いすることになるかと思う。

【吉井会長】

- ・米山薬師を守る会の活動も来年の3月で解散する。その後、米山薬師、登山道、山頂小屋、トイレの維持管理をどうするかは、行政と一緒にになって考えていかなくてはいけない。今、行政も考えているので、少なくとも3月までには次の対応を決めて来年4月からスタートするということになろうかと思う。この件について、委員から質問はないか。

(質問なし)

- ・それでは、米山薬師を守る会の報告を終了する。
- ・その他に移る。小出委員から提案があるそうなので報告をお願いする。

【小出委員】

・本日、柿崎区新保育園の整備等に関するアンケート調査の結果の説明があつた。それに関し、前回と前々回に私の方で子どもたちの遊び場について、今後どう取り組むかを検討していきませんかと提案した時に、このアンケートが出てからという話になっていた。このアンケートの結果、別添の裏面に⑥未就園児やその保護者等との交流の場の充実（子育てひろば）という点があり、こちらに保護者から「地域住民ボランティアとの協働による子育てひろばの運営や合併前上越に設置しているこどもセンターの機能を子育てひろばに併設することに関する提案もいただきました。」という意見があった。また、「柿崎子育てひろばの現状と比較した上で、改善や拡充が必要」ということも上がっている。こちらの意見も鑑みて、また市長の公約の中にも「13区内にこどもセンターを整備します。」というのがあった。このようなことを考えると柿崎区としてこどもセンターの機能をどういう形で作っていくのかを検討するのは、将来的には必要なことではないかということを改めて提案させていただきたい。まず、私たち自身がこどもセンター、子育てひろばという用語や制度についてあまり詳しくないというところもあるので、行政の協力をいただき制度や行政の取組、国の保育や児童に関する制度について勉強しながら、できれば委員会にして取り組んでいけたらと思い提案する。

【吉井会長】

・令和10年4月に新保育園が開園する。タイミングとしては、市長がこどもセンターを13区内に作りたいというのを公約として上げているので、我々はその内容について勉強会をしながら対応していかなければと思っている。この点に関して、小出委員から委員会を立ち上げたいという意見があった。今日は内容について細かいところに行けないと思うので、小出委員と私で相談し、12月あるいは1月くらいに立ち上げるとしたら委員の負担が増えないように進めていきたい。12月以降にスタートできればと思う。保育園に関する総合的な検討会ということになろうかと思う。委員の皆さんで私も参加したいという人

がいたら、参加していただきスタートしたいと思う。検討をお願いする。

- ・それでは、会議の日程を事務局からお願いする。

【長井班長】

- ・次の会議の開催日程を説明する。

(1)第2回まちづくりフォーラム実行委員会

(2)地域協議会だより編集委員会

(3)令和7年度第9回柿崎区地域協議会

(当日配布物について説明)

【吉井会長】

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後7時41分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。